

平成28年10月27日

各 位

会社名 株式会社ファインデックス
代表者名 代表取締役社長 相原 輝夫
(コード番号: 3649)
問合せ先 取締役管理部長 藤田 篤
(TEL. 089-947-3388)

業績予想の修正に関するお知らせ

平成28年2月12日に「平成27年12月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)」において発表いたしました平成28年12月期の業績予想について、下記のとおり修正いたします。

記

1. 平成28年12月期の業績予想数値の修正 (平成28年1月1日～平成28年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回予想 (A)	4,050	1,200	1,200	800	31.02
今回発表値 (B)	3,240	675	675	450	17.49
増減額 (B-A)	△810	△525	△525	△350	—
増減率 (%)	△20.0	△43.8	△43.8	△43.8	—
(ご参考) 前期実績 (平成27年12月期)	2,951	670	671	441	17.00

2. 業績予想数値の修正の理由

平成28年12月期の売上高は、医療分野のうち非放射線領域にあつては、第4四半期に想定していた案件において、医療機関の建て替えに合わせたシステム導入時期の変更や、予算分配などの院内事情により延期となったケースがあり、当初見込んでいたもののうち473百万円が翌期の導入となりました。また、他社電子カルテ等他システムとのセット商談が落札に至れなかったものも176百万円ありましたが、上記要因のほとんどは翌期以降の当社の業容を懸念させるものではなく、当社製品は医療機関から引き続き高い評価を得ております。

放射線領域ではシステム更新サイクルの長期化などのマーケット環境の変化により年初予算を155百万円下回る想定となりました。また、代理店については、販売・新規代理店の獲得など堅調に進捗いたしました。

非医療分野では、当期は安価であってもモデルケースを作ることに専念し、一定の成果を得ることができました。同分野での取り組みは翌期以降の売上高に大きく寄与するものと考えております。

利益については、各費用が予算内で運用されており特記すべき事項はありませんが、減収の影響により業績予想を下回る想定となりました。

以上のような状況により、売上高、利益ともに前期実績をやや上回る見込みではありますが、上表の通り業績予想を修正いたします。

なお、業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は予想数値と異なる可能性があります。

以上